

2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年3月26日
研究・研修課題名	心不全療養指導士認定資格の新規取得
研究・研修組織名(所属)	島根大学医学部附属病院・薬剤部
研究・研修責任者名(所属)	三浦 佳江(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	三浦 佳江、平町 隆明(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	薬剤部
学会名(会期・場所)、認定名等	・e-learningの受講 ・認定試験 書類審査(症例報告) 学科試験(12/20 松江 いきいきプラザ島根) 認定名:心不全療養指導士
演題名・認証交付元等	一般社団法人 日本循環器学会
取得日・認定期間等	2021年4月1日から5年間
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

心不全では、服薬や食事の管理が不十分であることが大きな増悪因子であり、また高齢の心不全患者では合併症が関連し、再入院を繰り返すことも多くある。様々な問題を抱える心不全患者を包括的に支援して、患者や家族のQOLを維持するためには、医療専門職がチームを組み、それぞれの専門性を活かして適切な治療を実施することが不可欠である。

日本循環器学会では医療専門職に必要な基本的知識や技能など資質の向上を図ることを目的として心不全療養指導士の育成、認定制度を発足している。当院においても、薬剤師として心不全治療の質向上に貢献するために同資格取得を目指す。

② 方法

受験資格は以下のすべてを満たしていることが必要。

- ・看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、公認心理師、臨床工学技士、歯科衛生士、社会福祉士の国家資格を有すること
- ・日本循環器学会会員(正会員・準会員)であり、年会費を納めていること
(会員年数は問いません。試験を受ける年度の4月1日以降の入会で問題ありません。)
- ・現在、心不全療養指導に従事していること
- ・受験者用eラーニング講習を受講し、修了証を取得していること
- ・症例報告書5例を不備なく記載し提出していること
- ・申請書類を不備なく記載・提出し、受験料を納めていること

資格取得に必要なeラーニング講習の受講、認定に必要な認定試験(症例報告書提出ならびにが学科試験)を受験した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、認定試験は各都道府

県にて実施された。

③ 成 果

・ eラーニング講習

eラーニングでは多職種講師より、心臓の構造や心不全の身体所見、患者教育のポイントなどを学習した。

受講により他職種カンファレンスにおいても、薬剤師的な観点だけでなく多角的な視点で患者さんの状況を把握できるようになった。今後もこの経験を活用し患者さんへの薬剤指導の向上や、心不全教室などを通じて患者教育へとつなげていきたい。また、今回の学習で心不全治療にともなう病診薬連携の大切さにも気づいたため、今後は心不全領域における他の医療機関、薬局との連携に力をいれていきたいと考えている。

・ 認定試験

症例報告を含む書類審査については、申請者2名が合格し、その後の認定試験において2名とも合格することができた。